

本地域は、笠間市の北部に位置し、県営圃場整備事業（平成12年）によって整備された水田地帯です。

「羽衣環境保全の会」では、農地や農業用施設、農村環境を維持保全する活動を支援する制度「農地・水保全管理支払交付金制度」（現在は多面的機能支払交付金制度）に平成24年度から取り組んでいます。

【地区概要】

面積： ・田 16 ha、 ・畑 0 ha

施設：

・開水路 4.3 km ・パイプライン 6.8 km ・農道 4.5 km ・ため池 1箇所

◆地域の交流活動◆



いつ：平成24年から

遊休の畑13aを借り受けて、農業者はもちろんのこと高齢者や非農家の協力を受け、地域一体となってそば作りを始める。

いつ：平成24年から

遊休農地を借り受けて収穫したそばを打ち、高齢者クラブや子供会を招待して地域総出で収穫祭を開催する。



いつ：平成26年のみ

背丈の低いひまわりを遊休の畑30aに植栽する。ただしひまわりにはカメムシが集まり、また花を楽しむ期間が1週間程度と短いので1年限りで終わりとする。

いつ：平成26年

農地脇の山林の立木が成長して農地の日照が悪くなっていたので、住民総出でこさはらいをする。この事業で長年懸案となっていたことが解決しました。



◆今年から新しく取り組んだこと◆

菜の花とポピーの植栽



遊休の畑にひまわりに変えて菜の花とポピーを植栽する。昨年10月の大雨で十分な出来栄でなかったが見てよし食べてよしでした。

◆今後の展望◆

高齢化及び後継者不足が深刻になっている上に、価格が安くて米作りをしない農家が急増している。担い手に耕作を依頼しているものの農地周りの維持管理に苦慮されているので、地域ぐるみで対処できる仕組みを作りたい。

◆平成27年度下半期のスケジュール◆

10月	そばの収穫
	補修・機能診断研修会へ参加
11月	ポピーの播種
	事業報告会へ出席
12月	収穫祭の開催
3月	水路の泥上げ
	地域内総点検
	監査・役員会